

震災による被害状況及び各活動への影響

1. 施設、設備・機器への影響

- 大学や関連施設・設備の被害、研究機器、通信設備の被害等 (※下写真)



被災概況
<p>(東北大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物応急危険判定： 危険判定 28棟 要注意判定 48棟 安全判定 (含：要部分改修) 512棟 ※危険建物として使用できない建物は約4万㎡ 施設等復旧概算費： 約448億円 物品等被害概算額： 約352億円
<p>(岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の「危険」「要注意」は無し。 ※天井の破損、水漏れ等は有り。 分析機器等が落下し修理・メンテナンス等の必要な設備有り。 建物・設備等被害額 約7000万円
<p>(福島大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物の「要注意」団地38棟中10棟

- 実験データの消失等
- 状況確認等のための施設の閉鎖、避難所としての対応等

2. 学生・教職員に係る被災状況

被災概況
<p>(東北大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生： 死亡3名 (入学予定者1名含む) 負傷14名 ※住居が全壊または一部損壊の学生： 526名 (5.2%) 教職員： 死亡・負傷ともに無し (親族等の被災は有り)
<p>(岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生： 死亡1名 被災件数584件 (9.5%) ※大幅な減収、家屋全壊、原発避難等による要支援学生数は296人 教職員： 死亡・負傷ともに無し (親族等の被災は有り)

<p>(福島大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学 生：死亡なし。 被災者 200名（主たる家計支持者の死亡、離職、主たる家計支持者の自宅全半壊、警戒区域、避難区域への指定等） ・ 教職員：軽症1名、家屋損傷等7名
--

3. 産学連携活動への影響

- ・ 共同研究・受託研究の遅延や中断
- ・ 技術移転等のための新技術・研究成果説明会等の開催延期や中止
- ・ 連携先企業が、津波や原発事故の影響により操業停止状態にあり、産学官連携活動が実施できない。
- ・ 自治体における、産学官連携に係る財源確保への支障の可能性

※産学連携活動への影響については、一部コーディネーターが調査を開始しているが、全体としては十分ではない状況

4. 風評被害

- ・ 地元企業への発注減等産業の空洞化への懸念
- ・ 外国人研究者、留学生の帰国等

<p>震災による外国人研究者、留学生の帰国等の状況</p>
<p>(東北大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人留学生：1499名中、790名の海外退避を確認。 (約1200名が退避したと推定) 新学期開始後の復帰状況92%。 ・ 外国人教員：348名中、144名が出国。 6月7日現在、出国中2名(6月復帰予定)、退職者2名。
<p>(岩手大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人留学生：201名中、111名が緊急一時帰国。 5月1日現在、震災を原因とした休学・退学者は無し(ただし、交換留学生7名が渡日時期を前期(4月)から後期(10月)に変更)。 ・ 外国人教員：退職者なし。(6月15日現在)
<p>(福島大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人留学生(177名)は、一部が一時帰国したが、戻ってきている。